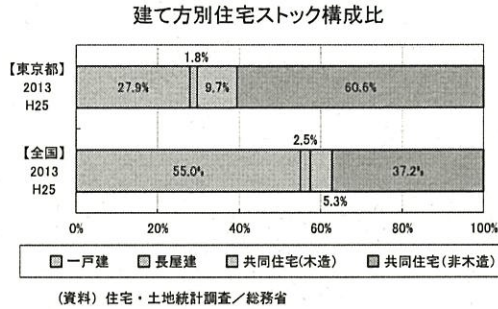


東京都住宅マスタープラン

資料4

○ 住宅ストックの建て方別構成比を全国と比較すると、東京都では、2013(平成25)年における一戸建ての割合は27.9%、共同住宅(木造)の割合は9.7%、共同住宅(非木造)の割合は60.6%となっています。

全国と比較すると、全国では一戸建てが55.0%と共同住宅より高いのに対し、東京では非木造共同住宅ストックの割合が高くなっています。



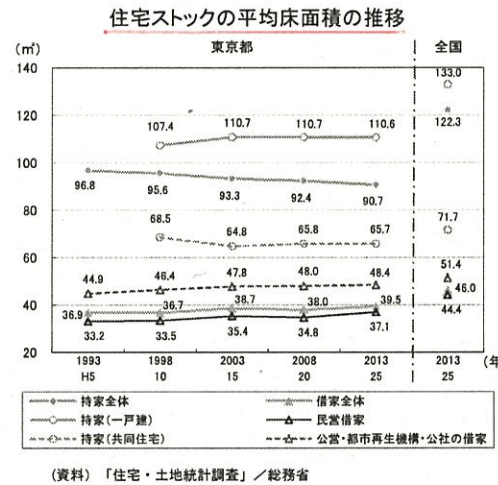
第1章

第1章

○ 住宅ストックを平均床面積の推移で見ると、持家は、2013(平成25)年に90.7㎡であり、1993(平成5)年から微減傾向で推移しています。一方、借家の面積は増加傾向にあるものの、2013(平成25)年では39.5㎡と持家に比べ狭くなっています。

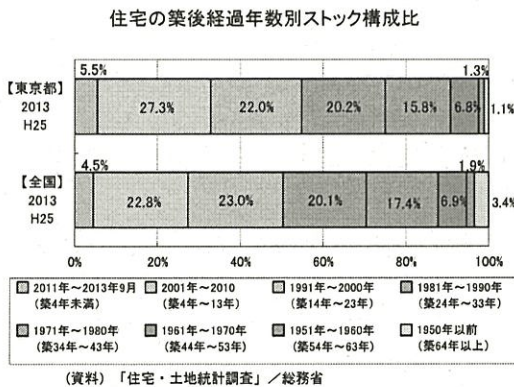
持家の平均床面積を建て方別に見ると、一戸建ては110.6㎡、共同住宅は65.7㎡となっています。

また、全国と比較すると、所有関係別・建て方別に全ての平均床面積が小さく、持家では全国の122.3㎡に対し約32㎡の差があります。

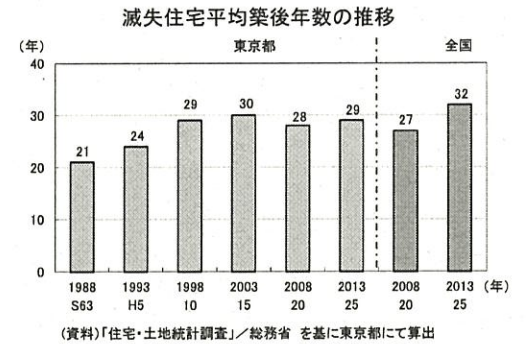


○ 住宅ストックを築後経過年数別で見ると、2013(平成25)年時点で、1981(昭和56)年の新耐震基準*施行以降に建てられた、築33年以下である住宅ストックは約75%であり、全国と比較しても、新しいストックが多くなっています。

また、築54年以上を経過した住宅ストックは2.4%と、全国との5.3%と比べ少なくなっています。



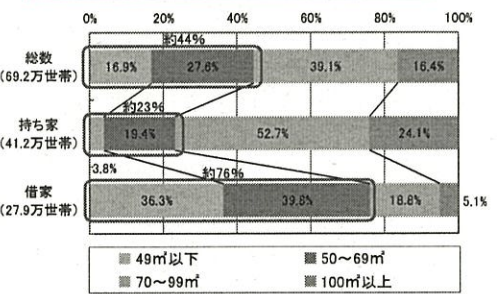
○ 東京都における減失住宅の平均築後年数の推移を見ると、1988(昭和63)年以降、年を追うごとに伸びてきましたが、2008(平成20)年には28年、2013(平成25)年には29年となっています。全国においては、2008(平成20)年から2013(平成25)年では、27年から32年へと伸びています。



(3) 子育て世帯の住まい

○ 2013(平成25)年における夫婦と18歳未満の者からなる世帯が居住する住宅の床面積を見ると、約44%が70㎡未満となっています。持家世帯は約77%が70㎡以上となっていますが、借家世帯は、約76%が70㎡未満となっています。

夫婦と18歳未満の者からなる世帯における住宅の所有関係別・床面積別世帯数(東京都)



○ 2013(平成25)年における都内の民営借家を面積別に見ると、29㎡以下が約5割、50㎡以下が約8割となっており、小さな面積の借家が多いことを示しています。

民営借家の面積別戸数と割合(東京都)

